

# 土気シビックウインドオーケストラと ソリストとの共演



2011年10月1日(土)

14:00開演(13:30開場)

京葉銀行文化プラザ  
音楽ホール

◎一般/2,500円

◎学生(高校生以下)/1,500円

(全席自由)



JR千葉駅より徒歩5分

## Program プログラム

### 第1部 土気シビックウインドオーケストラとの共演

山下美子(ピアノ)/G.ガーシュイン ラブソディインブルー

野本洋介(打楽器・作曲)/打楽器独奏と吹奏楽のための協奏曲(仮題)[新作初演]

指揮 加養 浩幸

### 第2部 土気シビックウインドオーケストラ オンステージ

指揮 加養 浩幸

### チケット取り扱い

京葉銀行文化プラザ TEL.043(202)1790

千葉市民会館 TEL.043(224)2431

千葉市文化センター TEL.043(224)8211

千葉市若葉文化ホール TEL.043(237)1911

千葉市男女共同参画センター TEL.043(209)8771

### <お問い合わせ>

千葉市音楽協会 TEL.080-2380-5922

chibaonkyo@docomo.ne.jp

主催/千葉市音楽協会

共催/千葉市 後援/千葉市教育委員会 協賛/(財)JFE21世紀財団

# 「国際音楽の日」コンサートについて

「国際音楽の日コンサート」は、  
ヴァイオリン奏者のユーディ・メニューインが、国際紛争が絶えないことを憂いて提唱。  
1977年にチェコで開催された国際音楽評議会(IMC)総会において、  
その翌年から10月1日を「国際音楽の日」として国際的連帯のもとに音楽の記念行事を催すことが決定されました。  
表面の写真は、IMC総会が開かれたチェコのプラハです。音楽が盛んな都市として世界中に知られています。  
日本では、1994年11月に、「音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律」が公布・施行されて、  
その中で10月1日を「国際音楽の日」とすることが定められ、翌年から実施されました。  
今回のコンサートは、東日本大震災復興支援チャリティコンサートのため、ロビーに募金箱を設置いたします。



## 加養 浩幸 (かよう ひろゆき)

千葉県出身。東京音楽大学(トランペット専攻)卒業。千葉市立土気(とけ)中学校に着任。同校吹奏楽部を指導し、吹奏楽コンクール全国大会へと導く。土気シビックウインドオーケストラでは、レコーディングや演奏旅行、多くのアーティストとの共演など多くの実績を残している。また、国際交流にも積極的に参加し、文化庁文化国際交流事業に度々参加し、音楽監督として参加し好評を博す。現在、全国のバンドのアドバイザーとしての活動やコンクールの審査員、執筆活動や編曲活動など多くの成果を挙げている。近年はオーケストラ・合唱を指揮しての演奏会も多く、いずれも好評を博す。日本吹奏楽学会理事、土気シビックウインドオーケストラ音楽監督、日本バンドクリニック委員会委員顧問、東京音楽大学講師。



## 山下 美子 (やました よしこ)

ピアノ

千葉県出身。6歳よりピアノを始める。千葉県立幕張西高等学校(現・幕張総合高等学校)音楽コースを経て、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。星野早苗、佐藤恵、ペーター・ペルティシュの各氏に師事。千葉市管弦楽団との共演の他、千葉県下の教育委員会主催の演奏会や、保育所、小中学校の音楽鑑賞会等に多数出演。声楽、合唱、管弦楽の伴奏者として幅広く演奏活動を行う傍ら、千葉市の自宅にて後進の指導にもあたっている。千葉市音楽協会会員。



## 野本 洋介 (ののもと ようすけ)

打楽器・作曲

千葉県出身。千葉市立土気(とけ)中学校の吹奏楽部にて打楽器を始める。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。打楽器を菅原淳、有賀誠門、岡田知之、高田みどり、石内聡明の各氏に、音楽学を小山薫氏に師事。作編曲活動として、JPC(コマキ楽器)より、打楽器アンサンブル曲を出版。Celestial Anthology~Cepheus~(石川県立根上中学校委嘱作品)、星物語~打楽器四重奏のための(土気中学校委嘱作品)、-MIRA-(千葉県立成東高等学校委嘱作品)、【LUNA】(ヤマハ吹奏楽団浜松委嘱作品)ほか。現在、読売日本交響楽団打楽器奏者、アンサンブル「ぶらっと」メンバー。千葉市音楽協会会員。

## 土気シビックウインドオーケストラ

千葉市緑区土気(とけ)町を拠点とするアマチュア吹奏楽団。1988年に数名の有志により創設、1994年には加養浩幸氏を音楽監督に迎え、現在は千葉県内外から集まる90名超のメンバーにより活動中。定期演奏会、ファミリーコンサート等の定期的公演のほか、地域行事への出演、全国各地への遠征公演、吹奏楽コンクールへの参加(全国大会へ10回連続出場、8回金賞受賞)、オリジナルCDの制作や各種依頼に応じての音源収録など、意欲的な演奏活動を展開している。

